

人間関係論

科目ナンバー 0G101
基礎分野 選択 2単位

津村 健太

1. 授業の概要(ねらい)

本授業は、柔道整復学科のDP1(柔道整復学の関連領域における基本的な科学的知識)に関連する科目です。

人間関係において重要な役割を果たすコミュニケーションの構造や特徴を理解することで、自らを取りまく人間関係について、客観的に考察する視点を獲得することをねらいとしています。その際、特に日本語によるコミュニケーションに焦点をあてます。

言語・非言語コミュニケーション、対人関係におけるコミュニケーション、日本語における比喩やオノマトペ、公共の場や異文化間におけるコミュニケーションなどの観点から、コミュニケーションや人間関係について考えます。最後に、それまでの授業を総括し、コミュニケーションの諸相から自身の人間関係について考察します。

2. 授業の到達目標

自らを取り巻く人間関係について、コミュニケーション学の観点から客観的に捉えることができる。

コミュニケーションや対人関係に関する理論などを学ぶことで、自分の想いや考えを適切に表現してできるようになる。また、他人の意図を受け入れられる素地をつくる。

3. 成績評価の方法および基準

授業ごとにLMS上で事後課題を課します。また、期末レポートとして、授業で学修した内容をもとに、自身の人間関係について考察してもらいます。

最終成績は、授業ごとの事後課題90%、期末レポート10%の割合で評価します。

事後課題および期末レポートについては、適宜コメントをつけてLMSにて返却します。

4. 教科書・参考文献

教科書

滝浦真人・大橋理枝 『日本語とコミュニケーション』(ISBN: 978-4595315435)

放送大学教育振興会

参考文献

齋藤孝 『コミュニケーション力』(ISBN: 978-4004309154) 岩波書店

5. 準備学修の内容

第1回の授業の準備学修として、これまでの人間関係やコミュニケーションにおいて困難を感じた経験を思い起こし、ノートなどに簡単にまとめてきてください。

授業での学修内容を振り返り、気づいたことや学んだことの要点を各自のノート等に整理してください。また、自宅学習として、LMSの事後課題に取り組んでください。(時間の目安:2時間)

また、日頃から、授業で学んだことを自らのコミュニケーションで実践してみてください。そうした積み重ねによって、自らのコミュニケーションを客観的に捉え、コミュニケーションの質を高めていきましょう。(時間の目安:1時間)

6. その他履修上の注意事項

LMSを使用します。

情報電子工学科を対象とするクラスにおいて、この科目はJABEE対応プログラムの選択必修科目、学習・到達目標中項目2-3に対応する科目になります。

教科書を使用します。必ず購入するようにしてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 コミュニケーションの構造と本質
- 【第2回】 日本語のコミュニケーション
- 【第3回】 言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション
- 【第4回】 あいさつのコミュニケーション
- 【第5回】 対人関係における言葉
- 【第6回】 依頼・勧誘の場面におけるコミュニケーション
- 【第7回】 感謝・謝罪・褒めの場面におけるコミュニケーション
- 【第8回】 対人関係のコミュニケーション
- 【第9回】 敬語のコミュニケーション
- 【第10回】 スピーチのコミュニケーション
- 【第11回】 比喩とコミュニケーション
- 【第12回】 日本語のレトリックとオノマトペ
- 【第13回】 公共の場におけるコミュニケーション
- 【第14回】 異文化間のコミュニケーション
- 【第15回】 日本語とコミュニケーション